

2014年1月

## 第2回山九グローバル溶接競技大会 開催報告

山九株式会社（本社：中央区勝どき、代表取締役社長：中村公一）は、国内外社員による溶接大会、第2回グローバル溶接競技大会を実施いたしました。

本大会は昨年11月13日、千葉県にあるサンキュウ R&C 東日本能力開発センターで行われ、世界8カ国（日本、中国、インド、タイ、マレーシア、サウジアラビア、インドネシア、シンガポール）から、それぞれのエリア予選を勝ち抜いた31名の選手が参加し4種目に分かれて競技を行いました。各競技者は150名を超える多くの観戦者の下、日頃鍛えた溶接技術を遺憾なく発揮しました。厳正な審査の結果、日本人選手に混ざりタイとシンガポールの社員が1名ずつ入賞いたしました。

山九グローバル溶接競技大会は、山九創業90周年を記念してスタートした大会で、5年毎に開催しております。ここ数年、日本国内において技能の伝承、教育について叫ばれると同時に日系企業のグローバル化による現地社員の技能向上もまた多くの企業における課題となっております。そういった状況を鑑み、弊社の機工事業のグローバル化推進と現場力の強化、そしてグループ内の交流と溶接技能の向上を目的として本大会を開催いたしました。

今後も山九グループは技能の伝承・強化に注力し、お客様に貢献してまいります。

